

釧路の研究活動

研修部長 厚岸町立太田小学校

校長 小川 一 法

1. はじめに

釧路校長会では長年にわたり、自主的に研究協議会を開催してきた。釧路管内の校長が一堂に会し、研究課題に基づく研究協議を行うとともに、会員相互の親睦を図ることを通して、結束を高めてきた。

今年度は、釧路管内が直面する課題を追究する3カ年研究計画の1年次目として「第61回釧路校長会研究協議会」を11月6日に開催した。コロナ禍においても、釧路校長会全体の課題意識の共有化と組織的な実践研究の充実、さらには会員個々の職能向上を目指し、研究活動に取り組んでいる。



2. 研究及び活動の計画

(1) 研究計画

研究主題

『釧路の風土で新たな価値を創造し、未来を生き抜く児童生徒の育成を目指す学校教育の推進』(1/3年次)

視点1 「組織運営の改善・強化」

組織運営体制の充実と「社会に開かれた教育課程」における校長の指導力

研究内容(キーワード)

戦略・戦術、グランドデザイン、家庭や地域との連携、ボトムアップ、CS(コミュニティ・スクール)、地域とともにある学校づくり、土曜日の教育活動への取組、働き方改革

視点2 「教職員の資質・能力の育成」

社会の変化や技術の急速な進展を踏まえた教員の資質・能力の向上を目指す校長の指導力

研究内容(キーワード)

人事評価及び面談の活用、ステージごとの人材育成、教職員の意識改革、OJT、メンター研修、学校全体を見渡す経験、責任ある役割、活躍する機会

共通する要素

教職員の意識改革や資質・能力の向上、家庭や地域社会との連携、異校種間の連携など

釧路校長会研究協議会

各町村校長会の取組

各学校の実践

(2) 活動計画

①第61回釧路校長会研究協議会の開催

②各種研究大会への参加体制づくり(道小、全連小、道中、全日中)

③道小オホーツク・北見大会第13分科会「連携・接続」提言(2年度)に向けた特別委員会

④全連小石川大会、道中宗谷・稚内大会(ともに3年度)提言に向けた特別委員会

3. 研究及び活動の概要

(1) 第61回釧路校長会研究協議会の開催

①全体会

【道小オホーツク・北見大会「連携・接続」提言発表】

「連携・接続の推進における『人材育成・人材発掘』に向けた校長の役割と指導性」

◇弟子屈町立川湯小学校 中岡 美緒

【第1分科会「組織運営の改善・強化」提言】

「社会の変化や地域の特色を踏まえた経営ビジョン策定における校長の指導力」

◇釧路町立別保小学校 佐藤 敬喜

【第2分科会「教職員の資質・能力の育成」提言】

「教職員としての資質・能力の向上を図り、学校経営への参画意識をもたせる校長の指導力」

◇浜中町立茶内中学校 田中 君枝

②分科会

協議①：分科会提言に基づくグループ協議

協議②：個人実践レポートに基づくグループ協議

(2) 各種研究大会への参加

①道中オホーツク・北見大会（9月11～12日）

参加期待数：20名 第13分科会提言発表（誌面）

②全連小京都大会（10月29～30日）

参加期待数：3名

③道中函館大会（9月25～26日）

参加期待数：10名

④全日中和歌山大会（10月22～23日）

参加期待数：3名

(3) 特別委員会の開催

①道小オホーツク・北見大会提言に係る特別委員会 6名 2回

②全連小石川大会（3年度）提言に係る特別委員会 7名 4回（予定）

③道中宗谷・稚内大会（3年度）提言に係る特別委員会 6名 3回（予定）



4. おわりに

今年度の研究協議会は、コロナ禍において町村校長会の意見を参考に、役員・理事で慎重に検討を重ね、集合形式で開催することとした。例年とは異なる半日日程で大幅に内容等を縮小し、感染症対策を徹底する中、全体会では道小オホーツク・北見大会で誌面発表となった内容の発表と課題別テーマに基づいた提言発表を2人の校長から行った。また、各分科会では提言発表や個人実践レポートの内容に基づき、課題解決に向かう校長の指導性についてキーワードを明確にしながら協議した。

道中オホーツク・北見大会の発表内容や各分科会の提言内容は、単に1校の実践としてではなく、釧路管内の実態や課題に基づいた校長会としての組織的な取組、関係機関との連携、各町村校長会による積極的な関与を発表する機会となり、明日からの学校経営に直結する実り多い研究協議となった。

コロナ禍においては、校長のリーダーシップが一層求められており、今後も軸のぶれない指導性を発揮できるよう、会員各位の理解と協力を糧に組織を挙げて研究活動に臨む所存である。